

# 新大広報

2015年  
卒業記念号



No.194

それぞれが掴んだ“宝物”を胸に…

特集1 卒業生・修了生からのメッセージ

## 夢への新たな一歩

～ここで得た全てが、未来への羅針盤～



特集2 退職する教員からのメッセージ

## 探究の日々への感謝

～時代を乗り越えていく新大生へのエール～

学長からのメッセージ

卒業後のつながり

～CAMPUS INFORMATION～





新潟大学長  
高橋 姿  
TAKAHASHI Sugata

平成27年の春に新潟大学を卒業される皆さん、  
大学院を修了される皆さん、  
ならびに新潟大学を退職される方々に、  
心からのお祝いを申し上げます。

## 卒業・大学院修了を祝して

今年も、次代を担う前途有為な卒業生及び大学院修了生を本学から送り出すことができ、我々新潟大学の教職員はこの上ない喜びと誇りを感じています。

仲間たちと共に学び、研究に熱中した日々、課外活動における辛かったことや達成できた喜び等、新潟大学での沢山の思い出を胸に、大きな夢と希望を持って明日からの新たな一歩を踏み出してほしいと願っています。

我が国の状況を見れば、政治・経済分野でようやく少し明るい兆しは見えつつありますが、まだまだ先行きは不透明です。加えて、東日本大震災と引き続いての原発事故からの復興・再生は、まだまだ途上であり、全国的に様々な影響を及ぼしています。また、去年は、豪雪、集中的な豪雨、火山噴火により、多数の犠牲者を出しました。世界的なエネルギー問題、環境問題、エボラ出血熱等の感染症問題など、多くの課題が次々に生まれています。

また、近年における社会構造の急激な変化のなかで、実社会が求める人材像も大きく変化しています。つまり、世界のなかでも活躍することが可能な「グローバル人材」であり、そして、新たな技術や事業の創出に寄与する「イノベーション人材」です。それは経済界・産業界だけにとどまらず、教育や医療の世界等、あらゆる業界においても同様です。このような時に社会へ飛び立つことには、期待と同時に、不安もあるかと思えます。しかし、皆さんには、本学で学んだ、広い視野と高い専門的能力、そして若さという強力な武器があります。自信をもって社会で活躍してください。活躍の場はそれぞれ違っていても、本学で学んだことを活かして、いかなる困難にも正面から望んでほしいと願っています。

皆さんの前途に幸多かれと祈念いたします。

## 退職を祝して

退職される教職員の皆様には、それぞれのお立場において長年にわたり本学の発展にご尽力いただきました。心からの敬意と感謝の意を表するとともに、お祝いを申し上げます。

平成27年度は、第2期中期目標・中期計画の最終年であり、第3期にはますます本学を含め国立大学法人をめぐる厳しい状況が予想されるなか、皆様からいただいた絶大なご協力のお陰で新潟大学は着実に発展してきました。本学は、その使命である教育・研究・社会貢献活動の一層の充実に努めて参りますので、皆様におかれましては、これからも本学への変わらぬお力添えとご支援の程を宜しくお願い申し上げます。

平成18年4月に、新潟大学の発展と会員相互の親睦を目的として、「全学同窓会」が結成され、本学との懇談会、交流会、講演会など活発な活動が行われています。

皆様には同窓会活動を含めた様々な形で、引き続き新潟大学に対しご支援とご協力をお願いいたします。どうぞ折にふれて新潟大学を訪れ、恩師、先輩、同級生、同僚や教え子達と交流をお持ちいただきたいと願っています。新潟大学は皆さんの心の故郷として、いつも皆さんへの扉を開いています。

最後に、この度人生の区切りを迎え、新たな出発点に立つ皆様方に、あらためて祝福申し上げますとともに、健康には充分ご留意されご活躍いただくことを祈念し、送別の辞といたします。



Niigata  
University

# 夢への新たな一歩

～ここで得た全てが、未来への羅針盤～

卒業生・修了生のみなさん、新潟大学での大学生活はどんなものだったでしょうか？  
楽しかったこと。うれしかったこと。大変だったこと。一番の思い出は？  
みなさんの大学生活を振り返ってみてください。

## Q新潟大学の ここが自慢!

人文学部  
人文学科

**牧野 広樹**  
MAKINO Hiroki

様々な人と出会えるところが、新潟大学ならではの強みだと思います。自分の所属した吹奏楽部には、北は北海道から、南は島根県からと本当に様々な地域から人が集まってきました。それぞれ育ってきた文化、生き方、考え方が当然のように違うなかで、時にぶつかり合いながらも助け合い、楽しみながらひとつの「音楽」に向き合っていくことができたということはこれまではない貴重な経験でした。そのようなすべての出会いが、1番の自慢であり宝物であるように思います。

教育学部  
生活科学課程

**松岡 早希**  
MATSUOKA Saki

私はサークルとダブルホームのコミュニティに所属しています。サークルは教育学部しかない特殊なサークルでしたが、入学当初から教員になる夢を追う仲間と共に過ごした時間はとても刺激的で、1番居心地が良かったです。ダブルホームでは、学部も違えば興味関心を持つ点が全く違う学生・教職員の方と出会い、広い視野を持てるようになりました。

このように、多くの人と繋がりを持てたのは新潟大学だからだと思います。

法学部  
法学科

**橘 勇希**  
TACHIBANA Yuki

私が思う新潟大学の自慢できることは、講義やゼミで先生方がとても親切で、とても親しみやすいということです。私は法学部で民法ゼミの石畝ゼミというところに所属していたのですが、そのゼミの先生を含めて、先生方の講義やそれ以外も自分分からないところなど、時間の許す限り質問に対して教えていただきましたし、先生方ともとても親しくさせていただきました。ほかの大学ではここまで先生方との距離が近いのではないことだと思います。

経済学部  
経営学科

**狩野 早姫**  
KANO Saki

・多くのサークル、部活がある  
私の所属していた探検部では、登山、ラフティング、ロッククライミングなど自然の中で普段なかなか経験できない貴重な体験をすることができました。探検部での経験や仲間たちは新潟大学に入ったからこそ得られたものだと思います。新潟大学には多くのサークル、部活があるので、きっと自分がやりたいことを見つけられると思います。そして、かけがえのない仲間と充実した学生生活を送ってください。

理学部  
自然環境科学科

**石山 翔子**  
ISHIYAMA Shoko

私の新潟大学の自慢は、ダブルホームがあることです。新潟大学の学生でも知っている人は少ないかも知れませんが、様々な学部学科の学生が参加し、地域活性化に向けて取り組む活動です。私は地域のお祭りや稲刈りに参加し、普段の大学生活ではできないことをたくさん体験しました。私はこの活動を通して、学年・学部学科の違う仲間がたくさんでき、また地域の方やその仲間との交流の中で成長することができました。ダブルホームに参加している学生、教職員の皆さん、ありがとうございました！

医学部  
医学科

**小牟田 佑樹**  
KOMUTA Yuki

アットホームな環境。それこそが新潟大学の魅力であると思います。医学科は100人強のクラスで全講義を6年間通して受け、辛い試験も全員で乗り越えてきたので仲の良さは抜群です！先生方との交流も多く、気兼ねなく相談できる場所も好きです。また、日本海や温泉、スキー場も近く、美味しいお米や海産物、地酒などにも恵まれ、友人と楽しい時間を過ごすことができました。新潟という地で学ぶことができたことを誇りに思い、また感謝しています。

医学部 保健学科  
検査技術科学専攻

**根本 円**  
NEMOTO Madoka

新潟大学は海外の大学との交流が深く、留学を経験できる機会が多いです。私は長期休業を利用して、フランスのナント大学やスリランカのペラデンア大学に短期研修に行きました。語学や海外の医療について理解を深めることはもちろん、多くの人との出会いがあり、自分を成長させるきっかけとなりました。この経験と出会いは私の一生の財産となりました。このように大学の授業では味わえない様々な経験ができることが新潟大学の魅力だと思います。

歯学部  
歯学科

**高田 寛子**  
TAKADA Hiroko

新潟大学歯学部では、5年生の後期から臨床実習が始まります。他大学の歯学部では、主に先生に付き添い、診療の見学や診療補助を行うことが多いようですが、新潟大学では学生1人あたり10名程の患者さんを受け持ち、患者さん1人1人の症例検討を行い、実際の治療も学生が行います。もちろん不慣れな私達学生のために、各診療科の先生がしっかりとサポートして下さいます。また、私達の臨床実習のために、新潟大学医歯学総合病院歯科総合診療部の中に、学生専用の診療ユニットが約20台設置してあります。これは全国でもトップを誇る数だそうです。

工学部  
電気電子工学科

**増子 豪**  
MASUKO Tsuyoshi

新潟大学は総合大学であるため、他の学部の人たちと関わる機会が多くあり、かつ幅広いジャンルの学問を学べるところが魅力だと思います。正直、大学生活はホントにアツという間に終わります。この4年間で、多くの先生方や先輩、友人、先輩と巡り合い、充実した日々を過ごすことが出来たからそう感じられるのだと思います。おかげで今までとは違った物事の考え方や捉え方を身につけることができ、自分を磨けたかと思っています。





## 新潟大学の ここが自慢!

農学部  
農業生産科学科  
**渡邊 和典**  
WATANABE Kazunori

私は農学部での勉強と平行して、高校から始めた『カヌースプリント』という競技を大学4年間続けてきました。本学にはカヌー部がなかったことから、母校の練習に参加しながら練習をしてきました。家族、友人、先生方、チームメイト…本当に沢山の人の応援をいただき、今シーズンは県代表として戦うことができました。

学生生活と競技に打ち込めた毎日はとてもメリハリのある4年間でした。自分の目標に向かって「やり切れる環境」があること。それが新潟大学の魅力の一つなのではないかと感じます。

大学院  
保健学研究科  
博士前期課程  
**渋谷 直樹**  
SHIBUYA Naoki

私は博士前期課程の医学物理コースに所属しています。私が思う新潟大学の自慢は、医学物理コースの教育カリキュラムがしっかり整っているところです。医学物理の基礎的な知識や臨床業務の内容など、医学物理士や放射線腫瘍医といった様々な職種の方から講義を受け、2年次には臨床実習として大学病院で治療計画の作成や直線加速器を用いた線量測定などを行います。今年は自分を含め医学物理士認定試験を受験した学生全員合格することができました。

大学院  
現代社会文化研究科  
博士前期課程  
**山田 祐紀**  
YAMADA Yuki

私は人文学部、現代社会文化研究科博士前期課程を通して民俗学を専攻してきました。民俗学ゼミでは、学部2年生からフィールドワークが始まり、お二人の先生の下で密な指導を受けることが可能です。また大学院の講義でも、他分野の先生方から研究に関するご指摘を頂くなど非常に有意義な大学生活を送ることができました。総合大学としての新潟大学のカリキュラムは、学びの可能性を広げていく上で非常に有効であると実感しています。

大学院  
自然科学研究科  
博士前期課程  
**近藤 匠**  
KONDOU Takumi

私が所属した生物学科は少人数で構成されており、先生方が1人1人の学生に対して真摯に向き合ってくださいます。研究室に配属されてからも、より手厚い指導のもと、のびのびと実験に取り組むことができました。また、学業だけでなく、少人数がゆえに学生同士の仲が非常に良好であり、一生の友人を得ることもできました。大学院を含めたこの6年間、新潟大学で学ぶことで非常に良い経験をさせていただいたと考えています。

大学院  
医歯学総合研究科  
博士後期課程  
**有松 圭**  
ARIMATSU Kei

私は、新潟大学大学院医歯学総合研究科 口腔生命科学専攻 摂食環境制御学講座 歯周診断・再建学分野で4年間学びました。ここでは、今までになかった新たなことが体験できました。自分が行った研究により新たな知見が生まれることにはこれまで味わったことのない興奮を覚えました。また、アメリカと南アフリカでの学会発表の機会を頂き、英語で海外の研究者とディスカッションをするなど貴重な経験が得られました。

大学院  
実務法学研究科  
**大岩 稚菜**  
OOIWA Wakana

「リーガルクリニック」では、夏休みに弁護士事務所に出向き、弁護士業務を体験、見学しました。受講者全員が同じプログラムではなく、訪問先の弁護士が、私の希望に沿ったプログラムを組んでくださいました。2週間弁護士に付かせてもらい、様々な分野の多岐に渡る業務を体験、見学させてもらいました。将来を見据えながら、取り組むことができる「リーガルクリニック」はロースクール自慢のカリキュラムの1つだと思います。



# 決意表明

さあ!! 旅立ちの時です。  
この決意表明を胸に、  
新しい一歩を踏み出してください。

人文学部 人文学科 **牧野 広樹**



春からは他大学の大学院に進学します。4年間、やっと住み慣れた新潟を離れ、また一から生活を始めることはもちろん不安ですが、それぞれの未来のために旅立つ友人たちに負けずに、気合をいれて頑張ります。

教育学部 生活科学課程 **松岡 早希**



ようやく春から社会人になります。今の私は、小さい頃に思い描いていた社会人像とはかけ離れていますが、小さい頃の自分がかかりすることのない素敵な大人の女性になれるよう、毎日を大切に過ごしたいです。

法学部 法学科 **橋 勇希**



新潟大学では、様々な方から、学問やそれ以外等、様々なことを学んできました。そのことは感謝してもきれません。新潟大学で学んだことを卒業し、社会に出た後にも生かせるように、これから頑張っていきたいと思います。

経済学部 経営学科 **狩野 早姫**



卒業後は、地元の銀行で働きます。困難に直面した時は、新潟大学での経験や仲間を思い出して自分を奮い立たせて前向きに進んでいきたいです。また、人とのつながりを大切にしながら常に新たなことに挑戦していきたいです。

理学部 自然環境科学科 **石山 翔子**



つらいこともありましたが、とても楽しい大学生活でした。それも協力し励ましあってきた仲間のおかげです。今まで一緒に過ごしてきた仲間と別れることは寂しいですが、この4年間の思い出を胸に、それぞれが望んだ場所で活躍していきたいです。

医学部 医学科 **小牟田 佑樹**



多くの方々に支えていただきながら無事卒業を迎えられることを大変嬉しく思います。皆様のご厚意に報いることのできるよう、そして目の前の患者さんを心身共に支えていけるよう、日々精進していきたいです。

医学部 保健学科 検査技術科学専攻 **根本 円**



常に向上心を持ち、臨床検査技師として地元福島県の医療に貢献していきたいです。新潟大学で学んだことを活かして、これからも新しい出会いを大切に、そしてこれまでの支えに感謝しながら日々努力していきます。

歯学部 歯学科 **高田 寛子**



歯科医師国家試験に合格した暁には、新潟大学での臨床実習で培った診療技術および、臨床現場での思考力を存分に生かし、多くの患者さんに触れて活躍したいと思います。

工学部 電気電子工学科 **増子 豪**



4月からは新潟大学院へ進学します。進学を許してくれた親に感謝し、それに応えるように研究に励みたいと思います。また、自分に足りないモノ、必要なモノを考えて行動し、より自分を磨きあげたいと思います。

農学部 農業生産科学科 **渡邊 和典**



春からは社会人として新しいスタートを切ります。仕事は大変だとは思いますが、大学生活とは一味違った『出会い』がとても楽しみです。人とのつながりを大切にしていける社会人になれるよう元気いっぱい頑張ります!

大学院 保健学研究科 博士前期課程 **渋谷 直樹**



医学物理士認定試験に合格することができましたが、新規認定申請をするためには医学物理に関する実務経験や学会参加等の業績単位が必要になります。認定を受けられるよう臨床業務や研究等頑張りたいと思います。

大学院 現代社会文化研究科 博士前期課程 **山田 祐紀**



博士前期課程を修了し、博士後期課程へ進学します。今後は自分の研究に限らず、多様な領域に関心を有して視野を養い、それを研究に活かせるようになること、そしてこれを学問や社会へ還元していくことを目指します。

大学院 自然科学研究科 博士前期課程科 **近藤 匠**



学校と社会では異なる点が多いと思いますが、6年間の学生生活で培ってきたこと、得られた思い出を胸に、新潟大学の名に恥じぬよう、仕事に取り組んでいきたいです。

大学院 医歯学総合研究科 博士後期課程 **有松 圭**



私はこれから、歯周診断・再建学分野の研究員になります。これまで以上により一層、研究に励みたいと思います。さらに、歯科医師として少しでも社会に貢献できるよう精進してまいります。

大学院 実務法学研究科 **大岩 稚菜**



大学院修了は1つの通過点に過ぎません。ここでの学びや経験を大切に大学院生生活を送るにあたり、携わって下さった全ての方々への感謝の気持ちを忘れず、最後まで初志貫徹で頑張りたいと思います。

## Q2 学生生活で 大変だったけど 乗り越えたこと

人文学部  
人文学科

**渡邊 菜**

WATANABE Shiori

サークル活動と勉強の両立が1番大変でした。所属していた合唱サークルは4年生主体で、私は学生指揮者という責任ある立場であった一方、大学院に進学することを目指していたため、勉強に集中したいという思いもありました。やることにあまりに多くて常に悩んでいましたが、サークルのメンバーが一生涯懸命付いてきてくれたことや、先輩や先生方が私の勉強の手助けをしてくださったお陰で、なんとかどちらも乗り切ることが出来ました。周囲の方々には、本当に感謝しています。

教育学部

学習社会ネットワーク課程

**佐藤 満里鈴**

SATO Maririn

1年半の中国留学。大学生活で1番心に残っており、私を成長させてくれた経験です。留学当初は右も左も分からない、頼る日本人もいない、言葉もわからないと問題ばかりでした。そんな中、私は拙い中国語ながら積極的に自分から交流を図り、心を通わせられるよう努めました。挫折そうになっても頑張りぬくことで、私は環境に溶け込むことができ、充実した日々を過ごすことができました。この経験は私の中で大きな財産になりました。

法学部  
法学科

**加藤 景子**

KATO Keiko

私が学生生活で大変だったことは、「時間をいかに使うのか」ということです。私は、興味を持ったことには、とことん参加しました。例えば、部活とサークルを4つ掛け持ちし、アルバイトをし、語学研修で韓国に行き、ボランティアにも行きました。その中で、もちろん上手くいかないこと、時間が足りなくなり悩んだことがありました。しかし、いろいろなことに挑戦したからこそ見えるものがあり、いろいろな方向性からの友人や先輩という縁ができました。

経済学部  
経営学科

**関根 和輝**

SEKINE Kazuki

これといって大変な事はありませんでしたが、強いて挙げればサイクリング部の合宿で班長を務めたことでしょうか。予定通り行かないのが旅の常なので、リーダーとして現場で咄嗟の判断をしなければならない事も多く、迷うこともありましたが、自分は1人で考え込みがちなので、支えてくれた仲間への存在は大きかったと思います。1人で何とかしようと思わず、周りと密にコミュニケーションを取ることで事態を乗り越えたと感じます。



理学部  
数学科

**塚田 隆仁**

TSUKADA Takahito

私が学生生活で最も大変だったと感じたことは“自立してゆく”ということです。大学は高校までとは違い、学校から課題が与えられることは少なく、テストの日程なども課目によってばらつきがあるので計画を立てて主体的に勉学に励む必要がありました。はじめのうちはそれに慣れることができず単位を落とすこともありました。しかし学生生活を送っていくうちに自立することの重要性を理解し、勉強に関することや私生活に関することに対して主体的に生活を送れるようになりました。

医学部  
医学科

**高橋 宏太郎**

TAKAHASHI Kotaro

私は「強くなりたい」という思いで大学から空手道を始めました。勉強との両立の大変さ、伸び悩んだ時期、負けた悔しさ、様々な困難を味わいました。そんな中でも共に上を目指す仲間を支えられて、稽古を続けることができました。困難を1つ1つ乗り越えて、地道な鍛錬を続け、結果としてメダルを手に入れた時の喜びは、言葉では言い表せないような最高のものでした。空手道を通して出会った人たちと、そこで得た経験はかけがえのない宝物です。

医学部 保健学科  
放射線技術科学専攻

**大場 さやか**

OBA Sayaka

4年生前期に臨地実習を行いました。実習では、それまで勉強した内容が現場でどのように使われているかを結び付けるのが大変で、また、患者さんに説明する難しさも感じました。これらのことから、机に向かっての勉強時は、この知識がどのように使われているかを考えるようになり、また、人に説明することを意識するようになりました。実習を通して成長できたかなと思います。今後もこの点を大事にしていきたいです。

歯学部  
歯学科

**加瀬 裕太郎**

KASE Yutaro

僕は高校までずっと野球をやっており、大学でも野球部に所属しました。少ない人数の中練習メニューを考えることは思ったより大変で、幹部学年になると試合の組み立ても常に考えなければならずなかなか自分のプレーに集中することが出来なかった時もありました。そんな中先輩が声を掛けてアドバイスをくれたり、後輩が自発的に仕事を探してくれたりしてくれて大きく支えられ助けてくれました。僕が野球を続けられ、頑張れるのも周りの人たちのお陰なのだ実感しました。

工学部  
情報工学科

**矢坂 拓**

YASAKA Taku

大学に入学した当初は、授業の予習・復習をあまりしておらず、レポート課題等もいい加減にやっていました。当然いくつか単位を落とし、成績も芳しくなかったです。しかし、成績の良い知人を見て対抗意識が生まれ、「自分ももっと勉強を頑張ろう」と思い直しました。結果、自分なりの勉強法を確立することができ、成績も向上していきました。継続して学習することの大切さや、学ぶことの楽しさを改めて知ることができたと感じています。

農学部

応用生物化学科

**村田 悠人**

MURATA Yuto

私は「自転車競技部」というサークルに入りましたが、この競技はかなりハードなもので、2年生の時にはキツくてやめたいなと挫折しかけました。しばらくの間練習を怠けサイクリングで気分転換していたのですが、それが楽しくたくさん乗れて、気付かないうちにより強くなることができました。その後は練習も楽しくなり、結果的には大学の全国大会であるインカレ出場や、地元新潟の大会で優勝もできました。物事が行き詰まった時は1度そこから離れてみるのも良いかもしれませんね。





## Q2 学生生活で 大変だったけど 乗り越えたこと

大学院 保健学研究科 博士前期課程  
**五十嵐 真理**  
IKARASHI Mari

仕事を辞めて背水の陣で臨んだ大学院生活でしたが、高すぎる壁に自分のできなさを痛感する毎日。自分自身との闘いの中、何度もくじけそうになった2年間でした。そんな中、同じ境遇にある院生仲間への支えはとても大きなものでした。それぞれ大学院へ進んだ理由は異なりますが、よりよい明日を目指す気持ちは同じ。こんなに真剣に語り合える相手がこれまでいたのでしょうか。凝縮された2年間に出会えた仲間へ感謝です。

大学院 現代社会文化研究科 博士後期課程  
**メナカ・ヒンダゴラ**  
MENAKA Hindagolla

私は2012年に新潟大学現代社会文化研究科の博士後期課程に進学しました。最初は、言葉や経済面で苦労しましたが、日本語の授業や先生方からの支援のおかげで、それらを克服することができました。さらには指導教員からのきめ細やかな指導のおかげで、自信を持って勉学に励むことができました。ボランティアなど様々な社会活動にも参加することができました。ここ新潟大学の学生として研究を修められたことに誇りを持っています。

大学院 自然科学研究科 博士前期課程  
**秋保 開社**  
AKIHO Kaishi

修士論文のための調査です。特に研究対象の樹木の花と果実のカウント調査がもっとも大変でした。2年間で数えた花・果実は合計39万個にもなりました。雨の日、雪の日、脚立から落ちる日といろいろありましたが、頑張った甲斐あって納得のいくデータが得られ、学会では自信を持って発表できました。調査を手伝ってくれた人達のおかげで、乗り越えることができました。本当にありがとうございました！

大学院 医歯学総合研究科 博士前期課程  
**藤井 香那**  
FUJII Kana

大学院では、調査や学会、ボランティアやアルバイト等で県内県外様々な地域に行くことがぐんと増え、新潟を出たことがなかった私にとっては試行錯誤の日々でした。大変だったことは、地域歯科保健活動の一環で岩室地区の地域の茶の間に赴き、正しい口腔清掃方法やお口の体操の講話をしたことが思い浮かびます。人前で話すことは苦手でしたが、地域の方々に温かく迎えられて、回数を重ねるごとに苦手意識も和らいだように感じます。

大学院 実務法学研究科  
**山本 大貴**  
YAMAMOTO Taiki

大学院生生活で大変だったことは、勉強量の多さです。憲法・民法・刑法といった基本的な法律だけでなく、法曹を目指すにあたって必要な基礎的知識や法曹倫理を学びました。多くの院生は卒業後に司法試験を受験しますが、膨大な勉強量の多さに圧倒されたり、どこまで勉強すれば足りるかといった不安を抱えながら学んでいました。乗り越え卒業できたのは、院生同士の励まし合いや、先生方が根気強く最後まで指導して下さったからだと思います。

大学院 技術経営研究科  
**古市 昌浩**  
FURUICHI Masahiro

社会人ですので、やはり会社との両立が大変でした。住まいは栃木県、勤務地は都内で新幹線通学でした。通学時間は、仕事の続きやメール対応など、有効に活用できたと思います。大変だったことは、週末の自宅での残務処理に加え、MOTの宿題やレポートなどを自分が納得するレベルで期限内に仕上げることでした。乗り越えたのは家族の応援と、同じ環境下で学習する学友とのつながりでした。家族と学友には大変感謝しています。

# 決意表明

人文学部 人文学科 **渡邊 栞**

これから新潟からちょっと遠い場所に飛び立つことになります。そこでは更に勉学に励み、研究に集中したいと思います。また、全く新しい土地ですので、様々な人と新たな交流を持ち、人の輪を広げて行きたいです。

教育学部 学習社会ネットワーク課程 **佐藤 満里鈴**

大学4年間では勉学だけでなく、楽しいこと、つらいこと、悲しいこと、様々な経験をしました。人として大きく成長できました。来年からは、新潟大学卒業生としての誇りを持ち、社会に貢献できるよう精進していきます。

法学部 法学科 **加藤 景子**

これからもいろいろな人との「縁」を大切にしていきたいです。最近の目標は、「大学での友達を一生の友達にすること」。なぜなら、働いたらどうしても職場つながりの関係が多くなってしまからです。

経済学部 経営学科 **関根 和輝**

まずは社会人になるということで、前向きに頑張っていこうと思います。仕事もそうですが、趣味も充実させたいと思うので、できることをひとつずつ増やし、豊かな人生を送っていけたらと思います。

理学部 数学科 **塚田 隆仁**

私は4月から高等学校教諭として教鞭をとることとなります。私は数学の得意な生徒はもちろん、不得意な生徒にも数学の面白さを伝えられる教師を目指しています。そのようになれるよう、日々勉学に励んでゆきます。

医学部 医学科 **高橋 宏太郎**

4月から医師としての生活が始まります。患者さんに安心してもらえるような医師になれるよう、日々精進していきたいです。最終的には生まれ育った新潟県に恩返しをすることができればと思っています。

医学部 保健学科 放射線技術科学専攻 **大場 さやか**

こうして学生生活を振り返ると、家族、先生方、友人、多くの人に支えられていたと実感します。このことを胸に留め、これから社会人として経験することを通して、日々成長していきたいと思っています。

歯学部 歯学科 **加瀬 裕太郎**

みなで力を合わせて勝った試合は何にも変えられない喜びを感じました。来年から社会人となりますが、壁にぶつかった時は部活動で学んだチームワークや周りとの協力する事の大切さを忘れず頑張っていこうと思います

工学部 情報工学科 **矢坂 拓**

私は、新潟大学の大学院に進学します。就活等もあって研究を行える時間はあまり多くはないですが、一科学者としての自覚を持ち、少しでも多くの人々の役に立つような研究結果を残したいと思っています。

農学部 応用生物化学科 **村田 悠人**

サークルなどの大学生活で培った自主性・主体性を活かし、社会人になっても多くの人と積極的に関わっていききたいと思っています。また、大学から始めた自転車競技をこれからも楽しみながら続けていきたいと思っています。

大学院 保健学研究科 博士前期課程 **五十嵐 真理**

学びの後に見えた世界はそれまでとは別世界でした。研究に必要な数々の知識や技術・ハートを惜しみなくご教示くださった先生方に恩返しをするためにも、夢を夢で終わらせず、諦めずに進んでいきます。

大学院 現代社会文化研究科 博士後期課程 **メナカ・ヒンダゴラ**

これまでの努力が実り、ついに博士課程を修了することができました。これからは、日本で得た知識を活かし、スリランカのペラデニヤ大学で、新たなキャリアをスタートさせます！

大学院 自然科学研究科 博士前期課程 **秋保 開社**

新潟県の森林・林業・木材産業の発展に貢献できるよう頑張りたいと思います。取り巻く課題は多いですが、その分できることもたくさんあると思います。責任感と広い視野を持って取り組んでいきたいです。

大学院 医歯学総合研究科 博士前期課程 **藤井 香那**

来年度からは新潟県を離れ、新天地での生活となります。新潟大学での6年間での経験を活かし、地元のPRもできればと思っています。新潟の雪が恋しくなるかもしれませんが、新しい環境でも日々精進していきたいです。

大学院 実務法学研究科 **山本 大貴**

卒業後は、5月に予定されている司法試験を受験するつもりです。いろいろな不安もありますが、学部生・大学院生を合わせて新潟大学で7年間学んだことを発揮して、悔いのないように全力を尽くしたいと思います。

大学院 技術経営研究科 **古市 昌浩**

MOT講義、先生方のご指導や異業種の学友から多くを学びました。3月には50歳になりますが、「有言実行」により現在の仕事は勿論のこと、今まで経験したことのない分野にも挑戦していきたいと考えています。

人文学部  
人文学科

**岩淵 太一**

IWABUCHI Taichi

学生生活で最も苦労したのは、部活動と就職活動と学業の両立です。特に3年生の冬から4年生の夏まで、自分の立てたスケジュールに振り回されるような毎日でした。これを読んでくれているあなたにもし目標があるなら、まずはとにかく早

いううちから長期的な計画を立ててみるのが重要だと思いますよ。目標を立てるのに早いも遅いもないと思いますが、早い方が絶対に後先楽です！後輩の皆さん頑張ってください。応援しています。

教育学部  
学校教員養成課程

**坂東 祐美**

BANDO Yumi

後輩の皆さんに伝えたいことは、勉強はもちろん、部活やサークル、アルバイトなど様々なことに挑戦してほしいと思います。私自身、アルバイトやサークル運営などの経験は自分にとってプラスになることが多かったです。大変なことも多々ある

かと思いますが、そのどれも楽しむ気持ち、そして自分を支えてくれている周りの人への感謝の気持ちを忘れず、ぜひ取り組んで、様々なことを吸収していきましょう。

法学部  
法学科

**富樫 翔太**

TOGASHI Shota

新潟大学は、図書館等の施設が充実しているし、学生と教員との距離が近く、ゼミの先生をはじめとして、多くの先生が進路や学習の相談に親身に対応してくれます。また、目標に向かい共に活動できる仲間ができる団体も数多くあります。私も法律相談部に所属し、有意義な経験ができたし、多くの仲間ができました。そのため、後輩の皆さんも何か目標ができれば、団体に所属したり、先生を頼ったり等、行動に移すほうがいいと思います。

経済学部  
経済学科

**金子 寛**

KANEKO Hiroshi

新潟大学はほぼすべての学部を備え、部活・サークルなどの課外活動はもちろん、勉強するための設備も充実しています。課外活動に打ち込み、仲間と友情を深める一方で、じっくり腰を据えて学問の真理に挑む環境も整っています。

自分自身の新たな可能性を見つける舞台は、新潟大学にそろっています。あなたの興味を見つけるアンテナを伸ばし、「やってみよう」と1歩を踏み出せば、新天地があなたを待っています。

Don't be hesitant to challenge new things. Just do it!

理学部  
物理学科

**宮田 恵理**

MIYATA Eri

4年間を振り返ると、インターンシップや研究所主催の研修、リケジョ塾の出前授業など、たくさんの方に挑戦し続けた日々でした。これらの経験は大きな財産であり、研修先での出会いは自分の人生観に大きな変化を与え将来の夢を志す気持ちを強くしてくれました。新しい環境に飛び込んでいくことは不安で勇気が必要ですが、皆さんにも様々なことに積極的に挑戦してほしいと思います。その先にはきっと人生を変えてくれるような、貴重な経験と素敵な出会いが待っていると思います。

医学部  
医学科

**鈴木 裕二**

SUZUKI Yuji

6(4)年間は長いようで、あっという間です。学生のうちにやっておけば良かったと思うことがたくさんあります。後悔のない学生生活を送るためにまず行うべきこと、それは、「己を知ること」そして「未来を想像すること」だと思います。皆さんに

はいずれ進路について考えるべき時が必ず来ます。自分が本当に求めているものが何なのか、そして、それを叶えるために今何をすべきなのかを、1度じっくり時間をかけて考えてみてください。皆さんが「今」その答えに辿り着き、有意義な学生生活を送られることを期待しています。

医学部 保健学科  
看護学専攻

**高原 まどか**

TAKAHARA Madoka

私は社会人を経験してから、改めて助産師を目指して新大に入学しました。ですから、社会に出たときに「学生時代何をしてきたか」ということがどれほど重要となるかを良く認識しています。勉強や努力というのは、しない人はしないの人生しか送れません。した人は自分で道を選ぶことができます。

学生時代は短いです。ただ何も考えずに過ごすのではなく、将来の自分をイメージしながら、多くのことを学ぶ時間にしてください。

歯学部  
歯学科

**羽賀 健太**

HAGA Kenta

新潟大学での6年間は長いようであっという間であった感覚で、もう卒業するのかという思いです。この学生生活を有意義に過ごすためにも様々なことに興味を持ち、何事にも挑戦してみることをおすすめします。

部活やアルバイトなどで得られる人間関係は今後の大きな糧になりますし、本人のやる気次第で海外への短期留学や研究室でのアドバンス的な学習もすることができます。たくさんの経験が学生生活を有意なものにすると実感しています。

工学部  
福祉人間工学科

**大石 陽波**

OISHI Youha

私は3年次編入生で、2年間しか大学生活を送りませんでした。皆さんの多くは4年間の大学生活を送ることになるでしょう。この4年間は皆さんの行動次第で長くも短くも感じることにと思います。大学で何に熱中するかの優先順位は自分できっちり決めておいた方が良いでしょう。時間やお金も限られていますが、いくつかのことを同時に熱中できる数も限られています。どうぞ、卒業時に後悔が残らない有意義な大学生活を送ってください。

農学部  
生産環境科学科

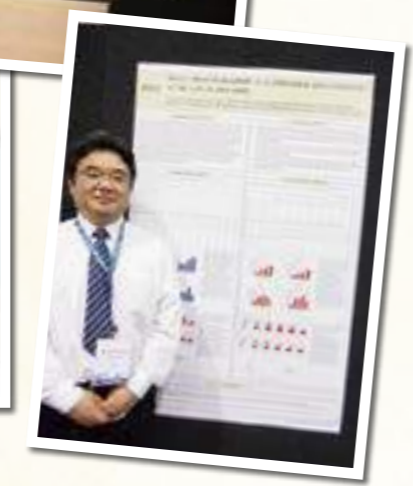
**長村 呼夏**

NAGAMURA Konatsu

大学生活の中で感じたのは、何事にも興味を持つことの必要性です。自分の研究内容以外のこともどこかで役に立つ可能性があります。私も研究で行き詰まった際に友達と何気なく話していたことが突破口となり、無事研究を終わらせることができました。また、研究に苦労はつきものです。そんな時、支えてくれるのは同じ苦労をしている仲間です。後輩の皆さんには仲間と切磋琢磨して困難を乗り越えてほしいと思います。

## Q3 卒業するにあたり、後輩へ一言。





# 決意表明



## Q3 卒業するにあたり、後輩へ一言。

大学院  
教育学研究科  
教科教育専攻  
**池山 香**  
IKEYAMA Kaori

人に還元される研究(私の場合は健康づくり)を行っている人は、積極的に学外に出てほしいと思います。私は、修士課程に進学してからその機会が劇的に増えました。同じ分野を研究している人、その分野を現場で生かしている人…様々な立場の方と出会うことで新しい見方ができたり、行き詰っている時の打開策が見えたりします。今はSNSによって県外で出会った方とも気軽に情報交換ができるので一度の出会いが一生ものになります。

大学院  
保健学研究科  
博士後期課程  
**内山 孝由**  
UCHIYAMA Takayoshi

当たり前ですが、研究は失敗と試行錯誤の連続です。それでも諦めず、自分を律して1つの研究に没頭し続けるような気概のある人は、大学院で研究するのも良いかもしれません。それに、研究を一生懸命やっていたら、時には良いこともあります。私は、オーストラリア・メルボルンで行われた血液学会に参加し、初めてオーストラリアに行くことが出来ました。そして、世界中の研究者とディスカッションする良い経験も出来ました。

大学院  
自然科学研究科  
博士前期課程  
**佐々木 叡**  
SASAKI Satoshi

大学・大学院生活で最も充実した期間は、研究室での生活でした。近い分野に関する研究を行っているメンバーと日中、共同生活をする中で、自分一人では思いつかなかった考えのインスピレーションを得られました。独りよがりだった私は、自分の力の限界を知るとともに、協力することで困難を簡単に突破できることに気づけました。後輩の皆さんも、新潟大学での生活の中でかけがえのない仲間とめぐり合えることを祈っております。

大学院  
医歯学総合研究科  
博士後期課程  
**山崎 元彦**  
YAMAZAKI Motohiko

『大学院で研究』と言うと何となく敷居が高いと感じる方もいるでしょう。でも決してそんな事はありません。自分が興味を持っていて答えを知りたいと思う事をテーマにすれば、研究の楽しさ・やりがいを感じる事が出来るはず。確かに英語で論文を書くのは決して簡単な作業ではありませんが、論文が海外の雑誌に受理され、GoogleやPubMedで自分の論文が出てきた時の喜びは入です。この喜びをぜひ大学院に入って味わってみませんか？

大学院  
実務法学研究科  
**村山 夏希**  
MURAYAMA Natsuki

普段意識していないかもしれませんが、新潟大学の学生である後輩のみなさんは、それだけで非常に恵まれています。せっかくこのような良い環境にいるのだから、それぞれの目標を達成するため、新潟大学をフル活用してほしいと思っています。また、大学生活に限った話ではありませんが、友人を大切にしてください。それだけで、みなさんの大学生活がより価値あるものになるかと思います。

人文学部 人文学科

**岩淵 太一**



新潟大学で過ごした4年間は思い返せばかけがえの無い素晴らしいものでした。春からいよいよ公務員として働き始めるわけですが、公務員として、そして新潟大学の卒業生として恥ずかしくないよう精一杯頑張ろうと思います。

教育学部 学校教員養成課程

**坂東 祐美**



春から社会人になるというわくわく感とドキドキ感でいっぱいですが、社会人になってもいつでも学び続ける姿勢を持ちたいと考えています。今までの学びを最大限に活かせるようにしたいです。

法学部 法学科

**富樫 翔太**



4月からは、他大学の法科大学院に進学する予定なので、新潟大学で学んだことを活かして、頑張っています。お世話になった先生方や、大学で出会った仲間へいい報告ができるように、これからも頑張ります。

経済学部 経済学科

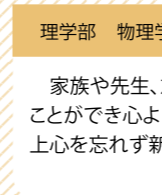
**金子 寛**



私は新潟大学の先輩がいない民間の会社で働きます。はじめのうちは「お手並み拝見」の視線にさらされますが、あせらずに新たな環境や仲間と協力し、新潟大学の学生は全国区でも通用することを証明します。

理学部 物理学科

**宮田 恵理**



家族や先生、友人など多くの方々に支えられて、充実した大学生活を過ごすことができ心より感謝しています。将来の夢に向かって研究や勉学に励み、向上心を忘れず新しいことにも積極的に挑戦していきたいと思っています。

医学部 医学科

**鈴木 裕二**



たくさんの人にお世話になりながら、ようやくここまで辿り着きました。今度は誰かのために捧げる番です。生涯を通して、患者さんに誠心誠意で向き合い続ける医師、患者さんに希望を与えられる医師になりたいと思います。

医学部 保健学科 看護学専攻

**高原 まどか**



助産学実習では産科医療の難しさ、また人員不足の厳しさを痛感しました。患者さんにはもちろんですが、医療者にも安心して働ける現場が築けるよう、産科医療に貢献できる助産師になる努力していきたいと思っています。

歯学部 歯学科

**羽賀 健太**



多くの方々に支えられた結果、今の自分があると思っています。多くの期待と医療人としての自覚を胸に、皆様のご厚意に報いられるような歯科医師を目指してこれからも日々学ぶ姿勢を大切に精進していきたいです。

工学部 福祉人間工学科

**大石 陽波**



私は、卒業後は県外の大学院へ進学予定です。大学院では研究をしながら、専門知識・技術を応用した新しい分野を開拓していきたいと考えています。何事もハードルを高めめに設定し、目標に向かって進んでいきたいです。

農学部 生産環境科学科

**長村 呼夏**



私は来年から大学院生となります。研究面では先生方から教授されるのではなく、一研究者として対等に議論を行い、自分の研究が実用化されるよう邁進していきます。また、それと共に後輩を陰ながら支えていきたいです。

大学院 教育学研究科 教科教育専攻

**池山 香**



今までの出会いを大切に、そしてこれからもたくさんの出会いの機会を求めたいと思います。出会いと言えば“人”が一番に浮かびますが、夢中になれる本、スポーツ、趣味、を求めてなんでも積極的に挑戦したいです。

大学院 保健学研究科 博士後期課程

**内山 孝由**



私の座右の銘は「精力善用、自他共栄」です。これからも新潟大学でさらに磨かれた私の持てる力をより発揮し、自分だけでなく、世界中の人々が栄えるような研究をしていきたいと思っています。

大学院 自然科学研究科 博士前期課程

**佐々木 叡**



就職先が、自動車関係の業務であることもあり、グローバルに活躍できる社会人として社会に貢献できるよう、世界情勢にも注視するなど、日々向上心を持って生活していきたいと思っています。

大学院 医歯学総合研究科 博士後期課程

**山崎 元彦**



研究する事の楽しさを後輩に伝えていきたいです。4年間の大学院生活で上司の先生方に御指導いただいた内容を生かし、自分も大学院の後輩を教える立場になれるよう、今後も勉強していく必要があると感じております。

大学院 実務法学研究科

**村山 夏希**



ここまで勉強が続けられたのは、周囲の多くの人の助けがあったからに他なりません。そのことを忘れることなく、今後も勉強を続け、社会に貢献できる弁護士になりたいと思います。





特集2 退職する教員からのメッセージ

# 探究の日々への感謝

～時代を乗り越えていく新大生へのエール～

大学院実務法学研究科  
人文社会・教育科学系



教授  
根森 健  
NEMORI Ken

## 平和についても、「think globally, act locally」が…

埼玉大学教養部から始まった、私の大学教員生活も33年になった。そして、この春、新潟大学を定年で離れる。武田鉄矢率いる海援隊の歌のタイトルを借りるなら、「思えば遠くに来たもんだ」というのが今の実感である。ところで、新大の学生諸君へなにか一言と頼まれた。みなさんに贈る言葉は、今ではよく知られた、「think globally, act locally(グローバルな視点で考え、まず、自分の住み暮らすところからローカルに実践する)」という言葉だ。私は日本国憲法を研究してきた学徒なので、「現在」だからこそあえて、「地球平和と私たち」ということで、この言葉を選ぶことにした。私たちの足元からの視点は、インターネットで広く知られることになった、宮尾節子さんの「明日戦争がはじまる」という詩と通底するものだと思う。問題の解決を、力や言葉の暴力に依存しない社会を築こう!

理学部  
自然科学系



教授  
高橋 正道  
TAKAHASHI Masamichi

## 新潟大学の学生の皆さんへ

私の研究室から卒業していったある学生さんの一人が、数年たってから、ある日、ひょっこりと大学に顔を見せたことがありました。しばらくぶりですごいんですね〜と、話を切り出した。卒業時は厳しい就職事情で、なかなか苦勞していた学生さんです。卒業後は、小さな塾講師になってコツコツと働いていたようです。そんな様子を見ていた塾の経営者が、「新潟大をでたヤツが、こんな塾にいつまでもいるんじゃないよ」と説教されたようで、それで一大決意をしたのか、私には分かりませんが、その後高校の教職の試験を受けて、今では高校教師になって勤めているということでした。おそらく、この学生は、新潟大学を出た後で大学への社会的評価を初めて理解したようでした。多くの学生さんは、新潟大学の中で期末試験の成績を気にして学生生活の毎日を送っている中では、自分が社会的にどのように評価され、どのように期待されているのか、全く分からないままに自信を失っているのかも知れません。

それが、卒業した後で「いや、新潟大学ってすごいですね〜」と言うことになったのだと思います。あまりに新潟大学の教員が厳しくするものですから、学生さんが自信を見失っているのかも知れませんね。自分たちを外から見つめることも大切なことなのかも知れません。

工学部  
自然科学系



教授  
岩部 洋育  
IWABE Hiroyasu

## 新潟大学を退任するにあたって

本学に勤務して41年が過ぎようとしています。その間、生産加工・工作機械分野での研究と教育に携わってきました。振り返ってみて、何とか重責を果たせたことにほっとするとともに、とても幸せな気持ちに浸っています。おそらくは、「天の時、地の利、人の和」に、この上なく恵まれていたからでしょう。

故事では「人の和」が最も優位と説いています。しかし、私には「時」とは生産加工技術と関連する機械類の大きく発展していた時期、「地」とは豊かな自然と美味しい食材に恵まれた新潟、「人」とは巡り会えた有能かつ誠実な新潟大学の教職員と学生諸君と理解しており、三者に優劣がないからです。

学生の皆さんには、本学のすばらしい環境で、独自の夢に向かって真剣に取り組み、悩みながらも信念をもって一步一步前進してほしいと希望します。「努力が裏切ること決してなく、必ずや皆さんは達成感と喜びに包まれ、新たな夢や希望と勇気さえ湧いてくる」ことを信じてほしいのです。

工学部  
自然科学系



教授  
澤村 一  
SAWAMURA Hajime

## もし論理学という学問がなかったら

西洋の論理学は、紀元前4世紀頃古代ギリシャに始まり、20世紀に科学の世紀を迎える契機となった。一方インド論理学は、今から2500年前頃に、苦悩からの解脱を目的に生まれた。共通点は、いずれの目的においても正しい思考によってしかそこに到達することはできないという認識があったからである。私はこれまで、情報科学・計算機科学の基礎科目として、洋の東西を問わず広い観点から論理学の授業を背景にある哲学も含めて行ない、研究では数理議論論という分野を開拓してきた。今特に西洋の論理学の歴史を振り返ってみると、もし論理学という学問がなかったら、「我々の社会、生活の全てを支えている現代のコンピュータ(スマートフォン等の情報機器も含めて)は明らかに存在していなかった」と言える。これは時代を超えて、哲学とそれに基づく基礎科学の意義、重要性を如実に示している卑近な例である。大学では、目先の問題、成果にとらわれない真理探究としての学問と思索の楽しみを味わい、その後の人生の糧としてもらいたいものだとつくづく思う。

工学部  
自然科学系



教授  
原田 修治  
HARADA Shuji

## 新潟大学を退職するにあたって新潟大学の学生へ向けて

昭和55年に移転直後の工学部共通講座に採用していただきました。まささらな実験室ときちんと整備された研究室に案内された時のことが蘇ってきます。最初に、研究を見直し、ものになる可能性はあるかを熟考しました。また、担当の物理学実験では、追発見感動の要素を盛り込む内容にテーマ等を工夫しました。その後、平成6年の機能材料工学科への改組を経て、研究の成果をデザイン教育に活用することなどに取り組みました。近年、その分野で功を成し遂げられた方と接する機会が多くなりました。そこで感じるところは、共通して「高い目標を掲げ、柔軟な強い意志」で臨んでおられることです。

学生の皆さん、「高い志」を持ち続けてください。

大学院技術経営研究科  
自然科学系



教授  
高橋 直紀  
TAKAHASHI Naoki

## 広い視野を持った人間に！

新潟大学に大学院技術経営研究科(MOT)が設置された平成18年に、新潟大学に赴任して来ました。それまでは企業の研究所などに勤務していたため、教員としての仕事はその時が初めてでした。

その後現在までの9年間、企業・公共団体・農業関係などのさまざまな業種、幅広い年代層の社会人学生や、色々な経歴を持つ先生方と交流することができ、学生達にとっても、私自身も、人間としての視野を広げることができたと思います。MOTは新潟地域にとって重要な専門職大学院だと思っておりますが、残念ながらまだ知名度が低いという面もあるため、今後も修士生などとの交流を続けMOTの発展に尽くしたいと思います。

大学・大学院の学生の皆様も、広い視野を持って社会に貢献できる人に育っていただきたいと願っています。

大学院医歯学総合研究科(医)  
医歯学系



准教授  
赤石 隆夫  
AKAISHI Takao

## 学生から今まで。そして、君たちへ…

私は新潟大学で6年間を学生として、残りは教員としてお世話になった。学生時代は学園紛争に翻弄され失望と挫折を経験し、学問と部活そして恋愛に救われ、良き師・友に出会い、伴侶を得て子を育て、そして今は巻き爪と胴回りの目立つ最古参教員となった。学問は私に1本の幹道を与えたが、如何に寄り道が多かったことか。いや、進んでその脇道を楽しんだことを白状しなければなるまい。後悔や懺悔はない。学問は何度か先駆者の満足感を錯覚させてくれたが、内部の「渇き」は癒えなかったからでもある。

その渇きは荒々しい学生時代、既に内部に巣食っていた。十年前に選んだ新医学教育への参画も其の事と無縁ではなかったが、渇きはやはり癒えることはなかった。これからの余りある時間はその為には用意されたものだろう。今の学生諸君の内部に渇きは存在するのだろうか？心に問うて欲しい。オアシスに耽溺し渇きを忘れた者は次の旅立ちの機会を失う危険に気づいて欲しいと自戒を込めて、心から願うからでもある。

大学院医歯学総合研究科(医)  
医歯学系



教授  
柴田 実  
SHIBATA Minoru

## 退任のごあいさつ

昭和51年に新潟大学を卒業し“機能を重視する手の外科”に興味を感じて整形外科に入局、手の外科・微小外科を用いた四肢の再建を専門としました。その後、ご縁があって“整容を重視”する形成外科を新たに専攻するに至り、新潟大学形成外科教室を初代として18年間近くに渡り主催させていただきました。四肢・頭頸部再建、唇裂など幅広く第一線級の形成外科診療を立ち上げ、臨床経験に基づく橋渡し研究を通して、多くの外部資金獲得を目指しました。全学講義を含め、学生講義・教職員交流の場で形成外科を周知、ご理解いただくために奮闘してきましたが、どれ一つとしてすんなり達成されたものはなく、再挑戦の連続でした。

これまでを振り返って、熱意をもって打ち込めば、失敗を重ねてもいつか道は開けるものと信じて精一杯努力し、情熱を持ち続ける事が一番大事であることを学生諸君にお伝えしたいと思います。

大学院医歯学総合研究科(医)  
医歯学系



講師  
吉田 豊  
YOSHIDA Yutaka

## 30年も新潟大学にいました

新潟大学に教員として赴任したのは1985年。定年で退職するのが2015年なので、30年この大学で働いてきたことになる。まわりにいる同僚、上司はおおよそ40年で退職する人が多いので、10年ほど短いが、ずいぶん長い間新潟大学にお世話になったことになる。他大学に移動する話もあったが、すべて断りあるいは断られ、新潟に続けた。新潟は私の郷里だが、決してこの土地が好きわけではない。食べ物、お酒がおいしいというがとくに固執するほどでもない。海も近く、山も近いので、夏と冬のスポーツにも便利な土地だが、若いころは別として今はさほど興味はない。客人の接待の時にお連れする飲食店は選択に困るほど多いが、迷うのが観光地。どこに行ったらいいかわからない。ここで生き、家族を持ち、生活を維持し、結構楽しい研究生活を送り、いやなこともあったが、これまでやってきた。多くの人と出会い、そして多くの人と別れてきた。これが人生というものだろうが、誰か私の人生の中から誰かに残せる宝物を探し出してくれ。自分の生きた証は、自分が誰かに与えることのできたものの中にあるようだから。

大学院医歯学総合研究科(医)  
医歯学系



准教授  
野本 実  
NOMOTO Minoru

## 少年易老学難成、一寸光陰不可軽

昭和44年、埼玉から新潟大学に進学し46年間があっという間に過ぎ、定年という時を迎えました。この間の自分を振り返ると反省ばかりが浮かんで自虐の念に堪えかねません。「少年老い易く学成り難し、一寸の光陰軽んずべからず」の有様には驚きの限りです。学生のみなさんには私の轍を踏まないよう、自戒を込めて一文を送りたいと思います。時間は無情に、休むことなく過ぎていきます。漫然と生きていたのでは大きな成果は得られません。どれほど大きな夢を持っていても、しっかり「今」を生きたければ夢は叶えられません。私たちに確実に保証されている時間は「今」だけです。「今」をしっかり生きてこそ、夢という果実が得られるのです。

医歯学系  
大学院医歯学総合研究科(医)



教授  
**山本 格**  
YAMAMOTO Tadashi

### 夢を描き、志を持って

私は新潟大学に入学し、研究者になり、いま退官を迎えた。子供のころ、科学者になる夢を持ち、未だ治療法がない腎臓病の病因や進行のメカニズムを解明し、治療法の開発に結びつけたいと研究してきた。大学を卒業するころ描いた夢はぼんやりとしていたが、どこまでも広がった。研究者としての夢の実現には、大きな山が立ち尽くし、道を阻むこともあった。それを越え、頂上を目指すには意気込み、志が必要だ。私の研究はまだ、道半ばだが、頂上が見えてきた。だから、定年後もその登頂を目指す。

誰の前にも、あらゆる道がある。どの道を選ぶかは、自分で決める。でも、どの道も必ず開かれている。一度の人生だ、自分のやりたいことをやろう。それが夢だ。その道を進みながら、自分が最も満足できる人生の夢とは、人の役に立つことをすることだと悟るだろう。夢の実現を目指す気構えが志だ。志があれば戦略も生まれる。そして、気付くだろう。その道には多くの友人とあなたを支えてくれる人々がいて、自分がそこにいることを。新潟の豊かな自然と食と厚い人情が君たちの道を支えている。

医歯学系  
大学院医歯学総合研究科(医)



教授  
**伊藤 雅章**  
ITO Masaaki

### 教授退任にあたって

私は昭和50年新潟大学医学部卒で皮膚科学教室に入局しました。同54～56年に米国留学し、平成3年に皮膚科学の教授に就任しました。それまでを振り返りますと、留学し、ましては教授になるとは思いませんでしたが、研究の機会に恵まれて、早期に業績を挙げられた結果です。教室の何人もの後輩の協力も大きな力でした。大学人として自らの専門分野で活躍する好機は誰にでも来るのですが、その好機を逃さないことが結果に繋がると思います。うっかり逃すと、その気になってもなかなかやって来ず、後悔することになると思います。23年9ヶ月間、教授職を無事に勤められたことも、その頃の頑張りがあったからだと思います。新潟大学の皆さんの頑張りを楽しみます。

医歯学系  
大学院医歯学総合研究科(医)



教授  
**山内 春夫**  
YAMANOUCHI Haruo

### 新潟大学での47年間 ありがとうございます

私は、1968年に新潟大学医学部に入学しましたが、その入学式が、父山内峻呉が新潟大学長として臨んだ唯一の入学式でもあります。それから47年間、新潟大学でお世話になりました。学園紛争、1970年の五十嵐キャンパスへの統合移転開始、草もはえない陸上競技場での東大との伝統の対抗戦、大学院での病理学・病理解剖の経験、1980年からの法医学の道、1987年から27年余りの医学部法医学教授としての司法解剖と研究、教育という本務、1989年から25年間の法学部での法医学講義や新潟生命倫理研究会を通じての全学的な交流、医学部陸上競技部と医学部俳句部の部長や東医体理事、教官学生懇話会等を通じての学生とのつきあいなど、楽しい思い出がたくさん残っています。生まれてからこれまで新潟島から出ることのなかった「井の中の蛙」をしばらくは続けようと思います。新潟大学の発展を祈り、皆様に心から感謝申し上げます。

医歯学系  
医学部保健学科



教授  
**渡邊 タミ子**  
WATANABE Tamiko

### 退任に寄せて

新潟大学には平成17年10月に着任し、この大学では約9年間お世話になりました。ここに至るまでには、多くの教職員や看護職の皆様並びに学生・院生に支えられて、何とか約36年の教員人生を無事に終えることができます。これまで小児看護学の観点から教育研究の充実化を目指して奔走し大変な時期もありましたが、今思えば忙しくもやり甲斐のある充実した日々でした。未来が豊かにある若い新大生の皆様にとって、社会不安が高まる状況の中では追い求めたい自分の‘夢’を確かなものにするには厳しいかも知れないですが、それを諦めることなく‘安易な道’ではなく、己を鍛えて己が生き生きと輝ける道であるか吟味し、それに向かって精進して下さい。その人生は、時にいばらの道だとしても、いつか勇気が体に満ちる時を迎え、きっと人として生まれてよかったと思える時を迎えることができるでしょう。最後に、皆様のご健勝とご活躍をお祈りしています。

医歯学系  
医学部保健学科



教授  
**佐山 光子**  
SAYAMA Mitsuko

### 「これまで」から「これから」へ

今から20年余の昔、医療技術短期大学部助産学専攻科に着任し、看護学・助産学の教育に携わってきました。取り組んできたのはウイメンズヘルスです。この間、短期大学部は医学部保健学科となり、さらに大学院保健学研究科が設置されて看護教育はダイナミックに発展を続けてきました。この激動＆変革期のなかで、教育のコンセプトは、価値観の物差しを広くとり、「小さな完成品」ではなく「大きな未完成品」人材を育てることでした。そんな企みが通じたかしら。私はこの大学を愛し、誇りとし、学生を尊重し、文句を言いながらも楽しげに柔軟に、自分らしく歩んできたこと総括しました。

学生のみなさん、「これまで!」にとらわれず「これから!!!」の開拓者になってください。

医歯学系  
医学部保健学科



教授  
**鈴木 力**  
SUZUKI Tsutomu

### 新潟大学を去るにあたり

学生時代も含めると45年以上お世話になった新潟大学を去ることになった。思えばあっという間ともいえる。私の専門は消化器外科学で、大学卒業後は実地医療で多くの患者さんと接してきた。また、この15年間は保健学科・保健学研究科教員として多くの学生さんともお付き合いさせていただいた。この間強く感じたこと、それは医療に携わる、将来携わることを目指す人間は常に自分を高めることの努力を怠ってはならないということです。万能な人間など存在しません。その時々で自身のなすべきことを考え、疑問や不明なことがあればそれを真摯に受け止め、自分を磨いて下さい。学生諸君の発展と活躍を祈念しています。

## 卒業生と在学生とをつなぐ

新潟大学キャリアセンター

# CANシステム



社会の先輩としての  
アドバイスを  
学生にお聞かせ下さい!

『CANシステム』は、在学生が卒業生に就職活動の相談ができ、また卒業生の方からも在学生へ社会の現状や、働くことのやりがいなど、生の声を伝えられるシステムです。先輩からのアドバイスは、様々な悩みや不安を抱えながら就職活動に取り組む後輩たちには、心強い支援になります。

### ご登録方法

登録はとてもカンタン!  
個人情報は公開されません。



新潟大学 CANシステム 検索

新規登録はこちら

<http://www.career-center.niigata-u.ac.jp/jobnetwork/>

**STEP 1 協力依頼・利用規約同意画面**  
新規登録から利用規約同意画面へ。

**STEP 2 入力画面**  
フォームに必要事項を入力。  
公開可能な項目は、任意で選択可能。



**STEP 3 確認画面**  
入力情報を確認後、「送信する」ボタンをクリック。

**STEP 4 登録完了**  
ご指定のメールアドレスに確認メールが届き、登録完了。  
※キャリアセンターにてご登録内容を確認させていただきますので、登録完了・公開までに数日かかる場合があります。

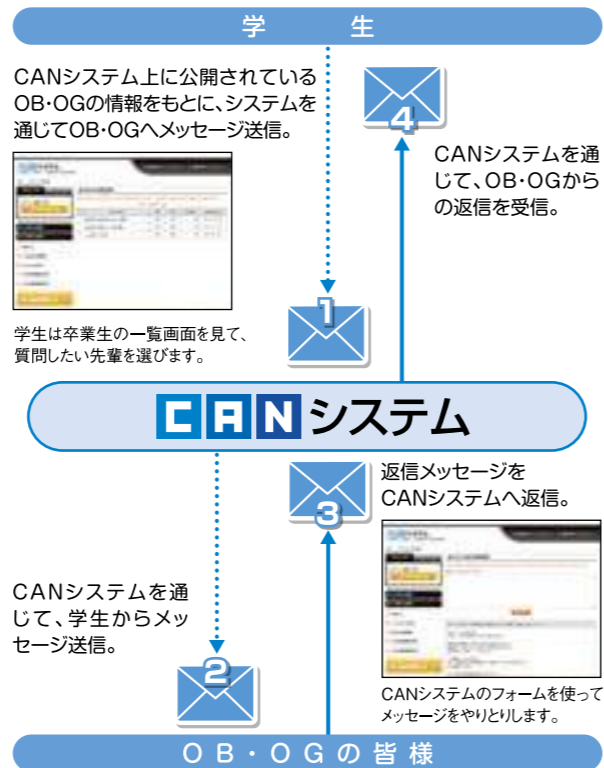
質問・相談メールをお待ちください。

### ご登録後の流れ

学生からの質問・相談メールに、システムを通じて返答します。

#### 活用具体例

- 会社・仕事・職種についての具体的な質問
- キャリア形成に関する質問やアドバイス



※お互いの個人情報(氏名・メールアドレス等)を公開せずに安心してご利用いただけます。

卒業生の皆さん、本システムの趣旨をご理解いただき、ぜひご登録をお願いします!

ご不明な点はキャリアセンターまでお問い合わせ下さい

新潟大学 教育・学生支援機構キャリアセンター

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地 TEL:025-262-6087

E-mail:niigata.cc-obog@adm.niigata-u.ac.jp

URL:<http://www.career-center.niigata-u.ac.jp/>

## 卒業生と大学とをつなぐ

新潟大学附属図書館は、地域社会に開かれた大学図書館として、卒業生・一般市民の皆さまにもご利用いただけます!

### 卒業後も大学図書館を利用できます!

利用できるサービス

- 1 館内に配架されている図書や雑誌の閲覧
- 2 中央図書館・医歯学図書館共通の図書館利用カードの発行
- 3 図書の貸出  
5冊14日以内。  
新大カード会員なら  
10冊14日以内で図書を  
借りることができます。
- 4 館内資料の複写
- 5 資料の検索、調査方法の相談 など

※その他詳細については、ホームページなどでご確認ください。



入館者が  
100万人を突破しました!

平成25年4月にリニューアルオープンした中央図書館の入館者が、平成26年4月およそ1年で100万人を突破しました。明るく開放的な図書館を多くの学生・卒業生・一般市民・教職員の皆さまにご利用いただいています。ぜひ、卒業後もお気軽にお立ち寄りください。



【新潟大学附属図書館HP】  
<http://www.lib.niigata-u.ac.jp/>

【五十嵐地区】  
新潟大学附属図書館 中央図書館  
TEL:025-262-6221  
E-mail:etsu@lib.niigata-u.ac.jp

【旭町地区】  
新潟大学附属図書館 医歯学図書館  
TEL:025-227-0694  
E-mail:b-serv@lib.niigata-u.ac.jp

卒業/修了後も大学のメールを利用できます!

### 新潟大学 卒業/修了生向けメールサービス

卒業/修了すると在学時に利用していたメールアドレス(在籍番号@mail.cc.niigata-u.ac.jp)が使えなくなります。\*

「卒業/修了生用メールアドレス」を取得すると  
卒業/修了してもずっと使えます。

卒業/修了生用アドレス 在籍番号@**alumni.niigata-u.ac.jp**

アカウントの一部が変わります

利用・登録方法

卒業/修了が決まったら、  
学務情報システムポータルから  
卒業/修了生向け  
メールサービス利用登録へアクセス

→登録後、  
新しいアドレスが発行されます。

※3月中旬から3月末までに在学生用アドレスに届いたメールは、卒業/修了生用アドレスに転送されます。





# 新潟大学全学同窓会



## 全学同窓会 多和田孝雄会長インタビュー

伝統ある各学部同窓会の枠を超えて連携・協力を図るため、平成18年に全学同窓会は設立され、平成27年に10周年を迎えます。会長の多和田孝雄さんに全学同窓会の活動について伺いました。

### 全学同窓会の理念や目標について教えてください。

「新潟大学の発展と社会への貢献に資するとともに、会員相互の交流と連携及び親睦を図る」という目標があります。加えて、同窓会員へのサービスを充実し、かつ母校をサポートする最強の応援団となるために、私は「会員一人ひとりと心の繋がる同窓会づくり」、「会員にメリットのある同窓会づくり」、「母校を支援できる同窓会づくり」をスローガンに掲げております。

### 全学同窓会の活動や事業について教えてください。

学生さんに関係する事業として、「雪華支援事業」があります。全学的な学生生活活動に年間総額300～350万円程度の支援を行っています。運動部等が利用する筋トレ設備更新のため、平成24年度に

は大学に対して1000万円を寄付し、平成27年度も1000万円を寄付する予定です。卒業生の希望者には入会費・年会費無料のゴールドクレジットカード「新潟大学カード」も発行していますので、卒業を機に是非ご入会下さい。

### 学生、卒業生に一言お願いいたします。

母校が全国有数の誇らしい大学となるには、教職員や学生諸君の活躍もさることながら、卒業生の社会での活躍も重要で、卒業生一人ひとりからの小さな支援が全学同窓会を通じて大きな力となり、母校を支えることにつながります。皆さんも卒業後は同窓会との連絡を絶やさず、全国にいる13万人の卒業生の仲間になって下さい。

卒業したら...

## 新潟大学カードに入会しよう!

新潟大学カードはVISA付きの国際カード  
入会費・年会費無料  
ご利用金額に応じてポイントがたまる

### 特典

- 国内・海外旅行傷害保険 最高3,000万円
- ショッピング保険 年間補償限度額200万円
- 空港ラウンジサービス

### 母校との絆をいつもポケットに!

新潟大学カードに関するお問い合わせは...  
新潟大学全学同窓会事務局  
Tel 025-262-7891 (受付時間 平日10:00~15:00)  
E-mail: n-doso@adm.niigata-u.ac.jp

【新潟大学全学同窓会HP】  
<http://www.niigata-u.ac.jp/dousoukai/index.html>

【新潟大学全学同窓会事務局】  
TEL: 025-262-7891 (受付時間 平日10:00~15:00)  
FAX: 025-262-7892  
E-mail: dosojimu@adm.niigata-u.ac.jp

## 「新潟大学基金」にご協力ください

「新潟大学基金」は、皆様からのご寄附を基に、学生の修学支援や、国際交流活動など、魅力ある大学づくりのために活用しています。具体的には、以下のような事業を支援しています。

輝け未来!!  
新潟大学入学  
応援奨学金への支援

体育館に最新の  
ウェイトトレーニング  
機器導入の支援

陸上競技部  
トレーニング室  
設置の支援

第一食堂前  
学生広場の  
ベンチ整備の支援

附属図書館の  
設備整備の支援

旭町地区  
課外活動  
施設整備の支援

医歯学総合病院  
の支援

これ以外にも各種事業への支援を行っています。これらの事業を継続的にやっていくためにも、皆様のご理解とご支援をお願いします。なお、ご寄附をいただいた場合、税法上の優遇措置が受けられるほか、本学独自の特典も用意しております。詳しくは、「新潟大学基金ホームページ」をご覧ください。

【新潟大学基金HP】 <http://www.niigata-u.ac.jp/kikin/index.html>

【お問い合わせ先】 新大サポーター連携推進室  
TEL: 025-262-5651・6010 (受付時間 平日9:00~17:00) FAX: 025-262-7796  
E-mail: kikinjimu@adm.niigata-u.ac.jp

## ■ 学長と奨学金受給者との懇談会

奨学金受給者  
からの声



受験に当たって奨学金制度のある大学を調べていた時、この制度を知ったことと、物理学を学びたく有名な先生もいたことで新潟大学の受験を決意しました。大学に入り、日常の現象や宇宙

についての疑問はほとんどを物理学で明らかになることを知りました。これからは様々な現象や理論上で、そこから見えてくる新たな疑問を解決していきたいと思います。

先輩受給者  
からの声

私も3年前に皆様と同じようにこの懇談会に参加しました。この3年様々な経験を積み、多くの人と出会い、時に悩みながらも自分が思い描いていた以上の学生生活を送ってきたと思っています。私はこの奨学金以外にも様々な経済的援助をいただき、大学院に進学するつもりで勉強しています。

## ■ 医歯学総合病院でのコンサート

新潟大学基金へのご寄附をもとにグランドピアノを購入し、患者さんにやすらぎのひと時をお届けするため、定期的な院内コンサートを開催しています。



【新大広報 Back Number】[http://www.niigata-u.ac.jp/profile1/100\\_pamph/shindai\\_kouhou.html](http://www.niigata-u.ac.jp/profile1/100_pamph/shindai_kouhou.html)

新大広報のバックナンバーは上記のURLから閲覧することができます。また、学務部学生支援課で受け取ることもできます。

2015年卒業記念号 [No.194] <http://www.niigata-u.ac.jp/>

編集・発行 / 新潟大学学務部・新潟大学広報室 印刷 / (株)第一印刷所

リサイクル適性 (A)  
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。